

令和3年度 嵐山小学校教育の推進にあたって

《学校教育の重点より》

【社会情勢】グローバル化や先端技術の高度化が進み、将来予測が困難な時代

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

自ら学ぶ力

自ら律する力

- 1 広い視野と豊かな感性をもち、よりよい人生や社会を創造できる子ども
- 2 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる子ども
- 3 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる子ども

学校運営の5つの柱

- 1 『いのち』
～子どもの命を守りきる～
- 2 『よりそい』
～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～
- 3 『つとめ』
～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める～
- 4 『ひろがり』
～カリキュラム・マネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を
実現する～
- 5 『つながり』
～校種間連携・接続により子どもを支える～

「生きる力」を育む15の取組

《重視する視点》

- 1 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
- 2 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
- 3 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という

京都市の教育の理念を具現化

◎ 学校教育目標及び子ども像・教職員像・学校像

【嵐山小学校 学校教育目標】

つよい心と体をもち、自ら学ぶ子どもの育成

～ 友達大すき 学校大すき 地域大すき 嵐山の子 ～

【めざす子ども像】

- ◇ 自ら課題を見つけ 学び続ける子ども【確かな学力】
わかる喜び，学ぶ楽しさを感じる
主体的に問題を見つけ，解決する
共に関わり合い，高め合う
- ◇ 強くしなやかな心をもち チャレンジする子ども【豊かな心】
失敗を恐れず前向きに取り組む
互いのよさを認め合う
目標に向かって努力する
- ◇ 元気いっぱい 活動する子ども【健やかな体】
基本的生活習慣の確立
健康と安全に関心をもち実践する
安全・防災への意識を高め，命を守る

【めざす学校像】

- ☆『子どもも大人もかしこくなる学校』（大人：教職員・保護者・地域）
- ◇ 新学習指導要領の理念に向けて実践する学校
- ◇ 新たな課題に向かって取り組む学校
- ◇ 夢や希望をもち，ともに高め合う学校

【めざす教職員像】

☆目指す子ども像，学校像を語り合う教職員

- ◇ 個々の持ち味，専門性を発揮する教職員
- ◇ 子どもの思いを捉え指導しきる教職員
- ◇ 健康で活気あふれる教職員
- ◇ 情熱をもち，協働して教育活動を実践する教職員
- 漏れのない「報告・連絡・相談」で連携の強化を図る
 - ・ 学年や部での組織的な取組
 - ・ 子ども，保護者の思いを理解し，迅速，丁寧な対応
(家庭訪問，電話連絡，連絡帳の活用など)
 - ・ 人間関係作り